

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月15日

計画の名称	潤いと安心のまち 刈谷の下水道（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	刈谷市												
計画の目標	下水道整備を推進し、安心・安全・潤いのあるまちを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,504	A	1,504	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率の向上【91.2%（H28当初）⇒92.8%（H31末）】 下水道処理人口普及率=供用開始区域内人口（人）／行政人口（人）×100	91%	92%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	北部第2処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~200mm L=2,353m	刈谷市	■	■	■	■		262		—
	A07-002	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	富士松第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~250mm L=1,175m	刈谷市	■	■				167		—
	A07-003	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	富士松第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150mm L=173m	刈谷市				■		17		—
	A07-004	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	吹戸第1処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~200mm L=1,606m	刈谷市	■	■				241		—
	A07-005	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	南部処理分区（未普及）	污水管 Φ=150mm L=1,141m	刈谷市		■	■	■		116		—
	A07-006	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（ 污水）	新設	小垣江処理分区（未普及）	污水管 Φ=150~250mm L=2,224m	刈谷市	■	■	■	■		491		—

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	刈谷市	直接	刈谷市	管渠（	新設	東刈谷処理分区（未普及）	污水管 Φ=150～250mm L=1,632m	刈谷市	■	■				210		—
											小計						1,504		
											合計						1,504		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

刈谷市水資源部において実施

事後評価の実施時期

事業終了後、令和3年2月実施

公表の方法

刈谷市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

普及率が91.2%から92.7%に増加したことによって、生活環境が改善し、公共用水域の水質が保たれている。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後は、効率的に整備を進めるとともに、下水道接続のPRを推進し水洗化率の向上に努める。

